

令和6年6月26日

富山県議会議長 山本 徹 殿

議会運営委員長 渡辺 守人

請 願 審 査 報 告 書

本委員会に付託の請願を審査した結果、別紙のとおり決定したから、  
会議規則第91条第1項の規定により報告します。

- . - . -      請                      願                      - . - . -

○議会運営委員会

受理 番号	受 理 年月日	件 名 (紹介議員)	提 出 者	要 旨	審 査 結 果
2	6.6.11	<p>政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を国に求める請願書</p> <p style="text-align: center;">(井加田  まり 岡崎  信也 火爪  弘子)</p>	<p>富山市豊田町1-1-70 アパートメント秋202</p> <p>富山県医療労働組合連合会 執行委員長 前田  洋志</p>	<p>請願趣旨</p> <p>政府は、看護師や介護職など社会基盤を支える労働者が、その役割の重要性に比して賃金水準が低い状況であるとし、ケア労働者の賃上げ事業に踏み出し、2024年の診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の改定で賃上げに特化した「評価料」や「加算」を盛り込みました。</p> <p>しかし、「2.5%のベースアップ目標」としていたものの、実際の診療報酬のベア評価料や、介護報酬の新加算は、その目標に到底及ばないばかりか、病院と診療所や、介護施設と在宅介護事業所の間で報酬が大きく異なり、対象外となる従事者もあるため、複数の施設を経営する医療や介護の法人では、従事者間に不平等を持ち込むことになるとして、賃上げの評価料や加算を見送る使用者まで出ています。その結果、2.5%のベースアップどころか、定期昇給分を含めても、2.0%程度にとどまる定昇並みの賃上げにしかならず、他の産業では5～10%の賃上げが実現している今年、ケア労働者の賃金水準はさらに全産業平均から大きく下回る事態となっています。</p> <p>現在の医療・介護現場では、退職者が増加し、入職者が減少する事態が全国各地で広がっています。その背景には、過酷な労働実態とそれに見合わない低賃金があることは紛れもない事実です。コロナ禍で経験したような、入院患者が受け入れられない、あるいは介護事業所が利</p>	不採択

- . - . -      請                      願                      - . - . -

受理 番号	受 理 年月日	件 名 (紹介議員)	提 出 者	要 旨	審 査 結 果
				<p>用できないなどの「医療崩壊」「介護崩壊」を、人員不足のために繰り返してしまうことのないよう、緊急な処遇改善策を国の責任で実行する必要があります。</p> <p>政府がケア労働者の賃上げの必要性を理解しているのであれば、すべてのケア労働者が差別なく処遇改善につながる施策を、再度実行性を伴う形で実施すべきです。そのためには、医療・介護施設への経済的援助の拡充も必要であり、診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の抜本的な引き上げと同時に、患者・利用者負担軽減策も実施すべきです。</p> <p>私たちは差別と分断を許さず、政府の責任ですべてのケア労働者の処遇改善と医療・介護事業の安定的な維持発展のために、以下の項目について国に対する意見書の提出を求めて請願します。</p> <p>請願内容</p> <p>1. 医療や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと人員配置増につなげるよう、政府の責任において、全額公費による追加の賃上げ支援策を実行すること。</p> <p>2. すべての医療機関と介護事業所を対象に、物価高騰や人件費増を補えるだけの診療報酬と介護報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施すること。</p>	

## ○議会運営委員会

受理 番号	受 理 年月日	件 名 (紹介議員)	提 出 者	要 旨	審 査 結 果
3	6.6.11	「マイナ保険証 と健康保険証の 併用を求める」 国への意見書の 提出を求める請 願書  (井加田 まり 岡崎 信也 火爪 弘子)	富山市豊田 町1-1-70 富山県民主 医療機関連 合会 会長 岩城 光造	<p>請願趣旨</p> <p>政府は、現行の健康保険証を令和6年12月に廃止し、マイナンバーカードと健康保険証を一体化し、マイナンバー保険証に一本化するとし、事実上マイナンバーカードを強制的に取得させるような状況となりました。</p> <p>私たち富山県民主医療機関連合会が2024年3月～5月にかけて、利用者、患者等へアンケートを実施したところ、約820人より回答が寄せられました。その結果によると、従来の健康保険証を今年12月に廃止する政府の方針については、「廃止すべきでない」と「延期すべき」を合わせると9割を超えています。また、「マイナ保険証を中止した方がよい」「現行の保険証と併用した方がよい」との意見も併せると9割を超え、国民は現行の健康保険証を残してほしいと考えています。</p> <p>さらに能登半島地震のように災害・停電等によるシステム障害の際には、マイナ保険証では被保険者情報が券面で確認できず、有効なものとは言えません。</p> <p>政府はマイナ保険証を登録しない人にも、申請がなくても「資格確認書」を交付するとしていますが、現行の保険証を残せば、健保組合や自治体の事務負担も変わらず、今のまま運用ができます。この間、マイナ保険証の利用率は6%前後で、ほとんどの国民は現行の健康保険証を使っている状況です。このまま現行の健康保険証を廃止すれば、マイナンバーカードを取得した</p>	不採択

- . - . -      請                      願                      - . - . -

受理 番号	受 理 年月日	件 名 (紹介議員)	提 出 者	要 旨	審 査 結 果
				<p>くてもできない施設入所者や寝たきり療養者などが医療を受けられなくなることが考えられます。</p> <p>以上の趣旨から、国に対し「マイナ保険証と健康保険証の併用」を求める意見書の提出をお願いいたしたく、下記事項につき、地方自治法第99条にもとづく国に対する意見書を決議していただけるようお願いいたします。</p> <p>請願項目</p> <p>1. マイナ保険証の利活用にあたっては、長期療養者、施設入所者をはじめ、マイナンバーカードを取得できない国民の状況を鑑み、現行の健康保険証を存続させること。</p>	